

044

地域や企業の防災意識を高める
「防災塾」の開催

取組主体

株式会社上田商事

従業員数

9人

想定災害

地震等

実施地域

鳥取県

- ・地域や企業の防災担当者を対象に、自社制作のテキストを使用した「防災塾」を開講。
- ・展示室に揃えられた各種の防災物品を体験するなど実践的な研修会も実施。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

地域や企業の防災のリーダーを育てる

- ・消防用設備・器具等の設計・施工・整備等を手掛ける株式会社上田商事は、地域や企業の防災担当者を対象に、自社制作のテキストを使用した「防災塾」を開講し、各種災害に備えた組織の構築、運営等に関する指導を行っている。
- ・また、社内の展示室に揃えられた各種の防災物品を活用して、非常食の試食や簡易トイレ用凝固剤の実験、救助用資機材の取扱い方法の確認等、より体験的、実践的に学べる研修を行っているほか、近隣自治体等からの要望に応え、防災物品・資機材の出張展示や防災についての講演会を実施している。
- ・「防災塾」では、各地域や企業の担当者が防災組織を構築する上で大切なことは何かをきちんと捉え、伝えるために様々な角度から分析を図り、より分かり易く伝えるための手法を工夫している。また、火災、地震、津波、洪水、大雪、土砂災害等の自然災害に加え、原発事故による放射能汚染災害への対応も盛り込んでいる。



様々な防災グッズがずらりと並ぶ展示室

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・同社は、防災塾の受講者が、地域や企業の防災のリーダーや担当者として防災組織を構築し、運営する場面に寄り添い、個別具体的にかつ継続的に支援を行うことで、防災への備えの質が高まっていると感じている。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・地域や企業での防災の取組は、その必要性が叫ばれてはいても、まだまだ進んでいないのが現状である。同社の取組が周知されるよう、その方法論も含め改善を図ることが必要と考えている。

担当者の声

- ・防災の取組や活動が、一時のことになってはいけなとと考えています。防災の取組をいかにして日常の1コマにするかが重要なのであり、1人では限られたことしかできない取組を、お互いの力を持ち寄ることで補完し合い、共助につなげていくことが不可欠なのだとことを繰り返し唱えねばなりません。こうしたことの実現性を高めるためには、地域の絆を強めることが大切であり、職場のコミュニケーションを不断に図ることを心せねばならないと感じています。

問合せ先

株式会社上田商事内鳥取県西部防災支援センター

TEL：0859-21-1631 FAX：0859-26-2758 E-Mail：ueda.yonago@dance.ocn.ne.jp